



ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

令和元(2019)年

12月7日発行

第30号

文責(校長)片山 隆

夢のふくらむ学校

OECD 生徒の学習到達度調査 2018年調査(PISA2018)①

先日、経済協力開発機構(OECD~加盟国相互の経済成長、開発、貿易の健全な拡大に貢献することを目的として1948年に発足した。現在36カ国が加盟。)が、3年ごとに行っているOECD生徒の学習到達度調査いわゆるPISA型調査の2018年実施報告書が発表されました。この調査の概要は、以下のとおりです。

- 15歳児を対象とした学習到達度調査
- 読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの3分野について調査
- 2018年に79カ国・地域、約60万人の生徒を対象に実施

日本の高校1年生のうち、国際的規定に基づいて抽出された183校、約6100人が参加。

さらに、主な内容を列記します。

- ◎ 中心分野である読解力について、既存の問題72問にコンピュータ使用型調査用に開発された新規問題173問を加えた245問が作られ、数学的リテラシーでは既存の問題70問、科学的リテラシーについては同様に115問が用いられた。
- ◎ PISA調査は、義務教育終了段階の15歳児が持っている知識や技能を、実生活の様々な場面でどれだけ活用できるかを見るもので、特定の学校カリキュラムをどれだけ習得しているかを見るものではない。
- ◎ 思考プロセスの習得、概念の理解、及び各分野の様々な状況の中でそれらを生かす力を重視。

報道等では、参加国・地域の中での順位が大きく報道され、特に「読解力」の順位が大きく低下したとされています。文部科学省の分析では、数学的リテラシー及び科学的リテラシーは引き続き世界トップレベルだが、読解力はOECD平均より高得点のグループに位置するが、前回より平均得点・順位が統計的に有意に低下。長期トレンドとしては、統計的に有意な変化が見られない「平均」タイプ、としています。

では、実際にどのような結果だったのでしょうか。文部科学省の分析によると、

- ① 読解力の問題で、日本の生徒の正答率が比較的低かった問題には、テキストから情報を探し出す問題や、テキストの質と信ぴょう性を評価する問題などがあつた。

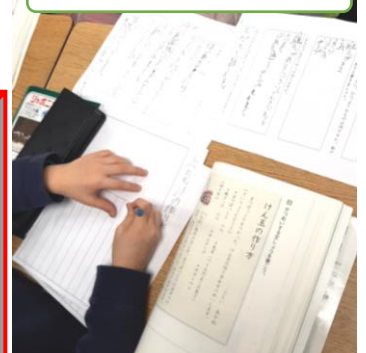
具体的には、

- ☆ 2018年度調査から導入されたコンピュータ使用型調査による、ソフト及びハード面での複合的な要因が、平均得点低下に影響した。
- ☆ 「理解する」能力については安定的に高いが、「情報を探し出す」能力については、高得点者層の割合が低下した。
- ☆ 「評価し・熟考する」では、「質と信ぴょう性を評価する・矛盾を見つけて対処する」(2018年度調査から導入)問題の正答率が低い。
- ☆ 自由記述式の問題において、自分の考えを根拠を示して説明することに、引き続き課題がある。誤答には、自分の考えを他者に伝わるよう記述できず、問題文からの語句の引用のみで説明が不十分な解答になる傾向がある。
- ② 読解力の自由記述形式の問題において、自分の考えを他者に伝わるように根拠を示して説明することに、引き続き課題がある。
- ③ 日本の生徒は「読書が好き」と答える生徒の割合がOECD平均より高いなど、読書を肯定的にとらえる傾向がある。また、こうした生徒ほど読解力の得点が高い傾向にある。

複数の資料をまとめています。

今回のPISA型調査の結果を受けて、補習校では、「日本語で考え、日本語で書く力」の育成に、一層注力していくことを確認しました。テキストを読み込み、自分で考え、書いたり、発表したり、意見を交換し合ったりして、読解力の育成に取り組みます。

読書においても、保護者会の皆さまのご協力を仰ぎながら、一層その楽しさと大切さを伝えてまいります。



2018年調査(読解力分野)の公開問題【ラパヌイ島】

2018年調査(読解力分野)の公開問題
「ラパヌイ島」

問1

ラパヌイ島
問題1/7

この新聞の記事を読んで、下の問いの答えを一つだけ選んでください。

ブログによると、教授がフィールドワーク始めたのはいつですか。

1990年代
 九か月前
 一年前
 五月の始め

3種類の課題文で構成

- 大学教授のブログ
- 書評
- オンライン科学雑誌の記事

問1【測定する能力 ①情報を探し出す】
ある大学教授のブログを画面をスクロールして読んで上で、教授がフィールドワークを始めた時期を選択して解答する。

タブをクリックし、画面表示する課題文を選ぶ。

問6

ラパヌイ島
問題6/7

このタブをクリックすると、それぞれの資料を調べることが出来ます。

二つの説に関して、それぞれの理由とそれらに共通する結果を正しい位置にドラッグ＆ドロップして、下の表を完成させてください。

二つの説	理由	結果	理由書
アイヌは農耕と牧畜が得意な民族だ。	アイヌは農耕と牧畜が得意な民族だ。	アイヌは農耕と牧畜が得意な民族だ。	アイヌは農耕と牧畜が得意な民族だ。
アイヌは農耕と牧畜が得意な民族だ。	アイヌは農耕と牧畜が得意な民族だ。	アイヌは農耕と牧畜が得意な民族だ。	アイヌは農耕と牧畜が得意な民族だ。

サイエンス ニュース

ラパヌイ島の森を破壊したのはナンヨウネズミか？
科学ライター 木村 真

2005年、ジャポニクスアイランド島の原始林が伐採された。この森の中で、ジャポニクスアイランド島のリス(ネズミ)が定住した様子が見られる。

本書は伐採と同時に大きな種族が移住した。多くの科学者が、ラパヌイ島で起こったことについてジャポニクスアイランド島の調査を行った。科学者たちは、18世紀にヨーロッパ人の島に上陸した時、島にジャポニクスアイランド島のリスが定住したことが、伐採した原因についてジャポニクスアイランド島の調査に同意した。そして、二人の科学者カール・リッパとリッパは、この島の調査を行った。彼らはナンヨウネズミの種を食うために、島人が食ったのと同じように食べている。そのネズミは、アイランド島の移住者である人間が上陸するために偶然移住したか、または、この島に意図的に連れてこられたのか、彼らは述べられている。

ネズミの数は、47日間で二割に増えるという研究結果があります。それはどの島のネズミが育つには多くのエサが必要で、リッパとリッパはこの島の環境として、ジャポニクスアイランド島のリスが定住した理由を指摘しています。むしろ、ジャポニクスアイランド島の森の破壊に人間が関係しているという説は、ジャポニクスアイランド島の調査の結果は主にナンヨウネズミの方であったという説は、彼らの主張のようです。

問6【測定する能力 ②理解する】
2つの説に関する原因と結果を選択肢から選び、ドラッグ&ドロップ操作によりそれぞれ正しい位置に移動させ、表を完成させる。

<読解力分野のコンピュータ使用型調査の特徴>

- オンライン上の多様な形式を用いた課題文(投稿文、電子メール、フォーラムへの参加回答など)を活用(従来の小説、演劇の脚本、伝記、学术论文等に加えて)。
- 全小問245題のうち約7割の173題がコンピュータ使用型調査用に開発された新規問題。日本の生徒にとって、あまり馴染みのない多様な形式のデジタルテキスト(webサイト、投稿文、電子メールなど)や文化的背景、概念・語彙などが使用された問題の数が増加した。

今後の日程～令和2年度入園入学受付について

受付及びスクリーニング日程

校名	受付日時	対象学年
W校 12/7・12/14	9:30～10:30	幼児部新年中
	11:00～12:00	幼児部新年長
	13:30～14:30	初等部新1年
L校 1/4・1/11	10:10～10:55	幼児部新年長
	11:25～12:10	初等部新1年
	13:15～14:00	幼児部新年中

次年度の入園入学受付に向けて調査書をお送りいただいたご家庭には、今後、下記の日程に基づき順次スクリーニングの予定日時がメールで送られますので、ご確認をお願いいたします。

なお、お知り合いの方、お近くの方で補習校に興味がおありの方をご存じでしたら、是非補習校事務所までご連絡いただくようお願いください。

左：W校幼児部のカレー試食会
右：L I校幼児部「秋祭り」での神輿かつぎ

